

# なぜ、ワークショップなどの取り組みが始まったの？

## 取り組みの必要性(公共施設のあり方について検討する必要性)

- ・昭和50年代に整備された公共施設の老朽化が進み、修繕や建替えの時期が一斉に到来
- ・将来の人口減少と世代構成の変化への対応が求められている。
- ・現状ですべての公共施設を維持していくことは困難 など

公共施設を  
めぐる課題

## これらの課題に対応するため、平成27年7月に「新潟市財産経営推進計画」を策定しました。

計画では、公共施設を効率的に管理・活用していくための基本的な考え方などを示しています。

### 公共施設の基本方針

#### 総量削減

人口減少や厳しい財政状況などを踏まえ、施設に係る費用の削減や需要に見合った施設規模での更新、集約化・統廃合による施設の見直しなどを行います。

#### サービス機能の維持

単一目的の施設から多機能化・複合化施設への転換を図り、施設規模は縮小しても、スペースの有効活用などによりサービス機能を可能な限り維持します。

### 4つの柱

#### 施設の最適化

既存施設の転用や多機能化・複合化、民間施設や民間サービスに代替などによる施設最適化

#### 施設の長寿命化

定期的な点検・診断・保全などによる施設の長寿命化

#### 歳出の削減

現状や将来需要に見合うように、施設規模の見直しや管理・運営の効率化などによるコスト削減

#### 歳入の確保

施設跡地など不要となった財産の売却・貸付など歳入確保

## 公共施設の将来のあり方を地域と協働で検討し、「地域別実行計画」を策定します。

財産経営推進計画では、中学校区を基本単位とした地域ごとに公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」を地域の皆さんと協働で策定することとしています。

地域の公共施設の見直しにあたっては、地域の皆さんの考え方や知恵が必要です。皆さんと市と一緒に検討を進めるため、地域でワークショップなどを開催しています。



葛塚地域で  
検討が  
始まりました。

## オープンハウス(パネル展示型説明会)開催のお知らせ!

開催日時 : 12月26日(月)10時~16時  
場所 : 北区役所 1階

ご来場  
お待ちしております。

ワークショップ参加者のみならず、広く市民の皆さんからのご意見を収集する機会として、オープンハウスを開催します。オープンハウス会場では、市の取り組みや葛塚地域のワークショップでの議論の内容など、様々な情報をパネル展示します。会場では、担当者がご質問やご意見を承ります。

お気軽にお立ち寄りください。



オープンハウス  
(他の地域の例)

## この資料に関する ご意見・お問い合わせ先

みなさんのご意見をお寄せください!

地域別実行計画コミュニケーション事務局  
(新潟市財務部財産活用課内)  
〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目613番地69  
新潟市開発公社社会館2階  
TEL : 025-226-2387 FAX : 025-230-5151  
E-mail : zaisan@city.niigata.lg.jp

## 新潟市 財産経営 NEWS

### 葛塚地域第1号

## ニューズレター 第1号

# 葛塚地域の公共施設のこれからを 考えるワークショップが始まりました。

新潟市では、平成27年7月に、「財産経営推進計画」が策定されました。

この計画は、少子・超高齢化社会などに対応し、将来世代に過度な負担を強いることのないよう、市有財産の効率的な管理・利活用を図っていくための方針を定めたものです。

この計画に基づき、地域の身近な公共施設については、地域の皆様と市・区役所が協働で、そのあり方について検討していきます。

## 公共施設のあり方について、検討しています。

葛塚地域では、区役所新庁舎の整備や太田小学校の編入統合を契機として、公共施設のこれからを考えるワークショップ(WS)を開始しました。ワークショップなどで得られた成果をもとに、地域の公共施設の将来のあり方を示す「葛塚地域実行計画」を作成します。

ワークショップ以外にも、本紙ニューズレターやオープンハウスなど地域の皆様の意見を反映するための様々な機会を設けていきます。  
※「地域別実行計画」については最終頁をご覧ください。

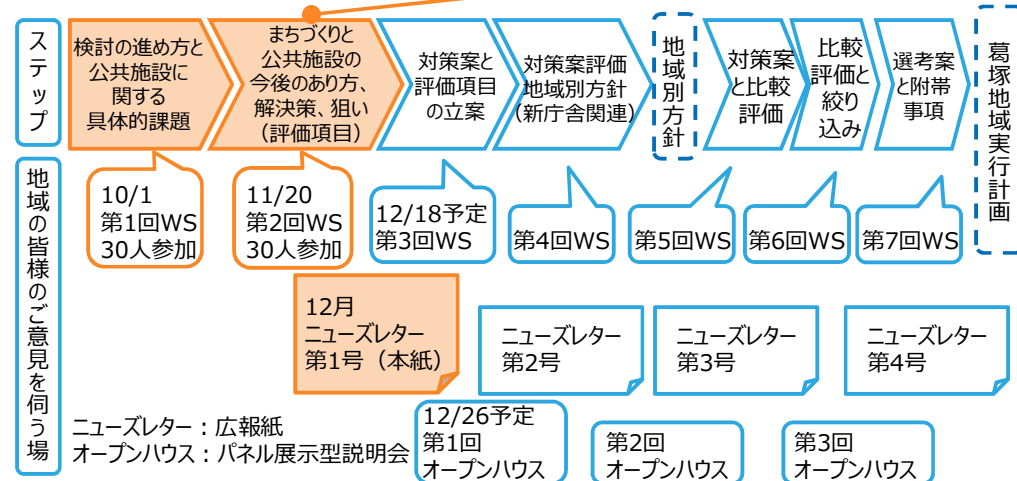


活発な議論が行われました。  
詳細は裏面をご覧ください。

第1回ワークショップの様子

市の検討のステップ(上段)と、  
地域の皆様のご意見を伺う場(下段)

現在、ここまで進んでいます!



## ワークショップ(WS)とは?

参加者が意見やアイデアを出し合い、話し合いをしながらその成果をまとめあげていく検討方法です。参加者はグループに分かれ、専門のファシリテーター(司会役)の進行で、話し合いを進めます。また、役職や年齢等に関わらず、平等・対等な立場で意見交換を行います。本ワークショップの参加者は、葛塚地域でコミュニティ活動をしている方、小中学校PTA、地域教育コーディネーター、地域内の公共施設利用団体の方、新潟医療福祉大学の学生、公募メンバーなどで構成されています。

# 第1回ワークショップでの議論の内容(抜粋)

10月1日に豊栄地区公民館で開催されました。活発な議論が行われました。

## 財産経営推進計画の基本的な考え方

### <公共施設の見直しの必要性>

- 人口減少が進む中で将来的に公共施設を減らす必要があることは理解できるが、減らすこと前提ではなく、まずは利用率の向上などを考えることが必要ではないか。いろいろ手を尽くしても他に手段がないのならば納得できる。他の予算を削ることで賄える可能性はないのかなど、根拠を示してしっかり説明してほしい。
- 不要な施設は1つもないと思うが、財政のことを考えると縮小しなければいけないことも理解できる。廃止したい公共施設の数やそれにより削減したい金額、財政をどの程度改善しなければいけないのかなど、市の基本的な考え方を聞かせてほしい。
- この地区の公共施設の利用率はある程度高く、市の中で最適化を優先的に進める必要があるとは思えない。もっと公共施設の稼働率や利用率が低い地域から取組んでも良いのではないかと。

### <最適化の考え方>

- 利用率などの視点だけを見て最適化するのではなく、高齢者や生活弱者、共働き家庭なども含めた住民の生活のことを考えた上で検討を進めてほしい。利用率が低くても必要なサービスや近くにほしい施設があるはずだ。
- 公共施設の廃止や移設は人の流れを変え、古くからのまちのつくりを壊してしまうのではないかと心配だ。類似施設はすみ分けして共存させる可能性なども検討してほしい。

## 公共施設の現状の課題

### <地区内の施設バランス>

- 駅北は、病院や民間の施設は充実しているものの、公共施設が少ないので、子育てや災害時の避難場所の不足が心配だ。高齢者の避難や今後のまちの発展を見越して、もっと公共施設を充実させてほしい。
- 葛塚東小学校区には児童センターや児童館があるが、葛塚小学校区にはないなど、小学校区ごとに公共施設の整備の状況にばらつきがある。太田地区、葛塚中心部、中心以外の地区、駅北地区を比べても公共施設のバランスも悪いので、地区ごとに課題の認識が異なる。

### <施設までのアクセス>

- 文化会館や公民館、図書館などの公共施設がまとまっているといっぺんに用事が済ませられるので便利な反面、住んでいる場所によってはアクセスが悪くなり利用しづらくなるのではないかと。
- 徒歩で行ける範囲にスポーツ施設など気分転換できる場所がないので、年を取って車が使えなくなると、気晴らしすることも難しくなるのではと心配だ。
- 公共施設の多くは車以外でのアクセスがしづらく、車のない学生や運転できない高齢者などは不便を感じているので、公共交通の充足を図ってほしい。

### <利用率>

- 眺望の良いビュー福島湯や立派な調理施設など、せっかく良い施設があるのに十分に使われておらずもったいない。
- 地域の公共施設についての情報が伝わってこないで、一部の興味のある人しか利用していないのでは。施設の利用料金や利用方法など情報が入ってこないし、イベント情報も目に留まりにくいので、身近に感じられず利用しない。もっと情報発信を工夫する必要がある。
- 文化会館や郷土博物館は魅力的な企画がないから利用率が低いのではないかと。活性化するような企画を打ってほしい。
- 公共施設の利用料金が安くなれば利用率も上がるのでは。また、似たような機能を持つ施設の利用料金に差があるから利用率にも偏りが生じるのでは。

### <運営方法・使い勝手>

- 平日仕事をしている人や共働き家庭にとっても使いやすくなるように、開館時間帯や休館日を設定してほしい。
- 公共施設は全体的に建物が薄暗いので、若い世代が利用したいと思わないのでは。
- 葛塚中学校は、コミュニティセンターとの複合施設だったが、バリアフリーでないことや迷路のようで分かりにくい作り、音が反響するなどの問題があるので、複合施設には使いにくいというイメージがある。
- 外観は変わらないのに名称だけが変わり、名前だけではどの施設を指しているのかわからない施設もある。情報提供不足による認識の低さが使われにくい一因では。

### <子育て支援>

- 保育園の空きがなくて入れない場合や、別地区の保育園や兄弟姉妹で別々の保育園に通っている場合もあるなど。保育園が足りない状況を改善してほしい。
- 保育園や学童の施設の老朽化が進んでいる、スペースが狭いことや、トイレや部屋が全体的に暗いこと、小学校と学童保育が離れていて利用しづらいことなどの問題があるので、安心安全で快適に利用できる様に改善してほしい。
- 児童館など、子どもが安心して過ごせる場所が少ないことに加え、既存の施設には狭い施設もあり、耐震面でも不安がある。

## 公共施設に対する提案・要望

### <望まれる機能>

- 子どもと高齢者など異なる世代が交流できる場が少なくなったので、多世代交流のための施設がまちなかにあると良い。
- 学生が気軽に立ち寄り溜まれ、まちの情報も発信できる場があると地域と接点が生じ、若い力をまちづくりに生かせるのでは。

- 行政窓口で行う事務手続はコンビニでも済む時代であり、文化施設もイベント時のみに利用する場ではなくなった。日常的に人が集まり、そこから周辺地域に人が流れ活性化させるような公共施設がまち中に必要だ。
- 北区文化会館のような新しく広い建物には、防災機能を充実させてほしい。
- 子育て中の母親が集まれる施設や、調理室の使える施設、レジャー施設、児童館、新しいコミュニティセンターなど、住民の生活の充実につながる施設があると良い。

### <施設の統合>

- 公共施設が集約され、多機能化が図られれば、用件を一カ所で済ませられるなど、サービスが充実し便利になるので良い。
- 施設が集約されると施設が遠くなりアクセス面で不便になる地区も出てくるのではないかと。特に高齢者は車の運転ができなくなるので、歩いていける距離に施設がある方がよい。
- 似たような使われ方をしている施設が近接している場合には、統合しても良いのではないかと。例えば豊栄地区公民館と葛塚コミュニティセンターは、一元管理して業務を簡素化し、郷土博物館を他の展示施設と統合できる可能性があると思う。
- 施設の統合や廃止の際には、役割や機能のすみ分けを再整理し、必要な機能がなくなるまいと、慎重に検討してほしい。

### <新設区役所>

- 区役所を文化会館、公民館、図書館などがあるエリアに新設し、機能を集約化や施設間の相互連携が図られると良い。アクセスが不便になる地域が増える点については、交通サービスを充実させることで解決できるのではないかと。
- 文化会館や公民館、図書館などがあるエリアに区役所が移転すると、アクセスする車がさらに多くなるので、道路渋滞などの問題が出ないか心配だ。
- 新しい区役所の敷地確保のために公民館やコミュニティセンターなどの既存施設が壊されてしまうことで、そこで行われてきた活動ができなくなるのではと心配だ。
- 新設区役所に葛塚コミュニティセンターの機能を入れれば、豊栄地区公民館と葛塚コミュニティセンターを行政側で一元管理できると、コミュニティセンターの認知度も上がると思う。

### <太田小学校跡地>

- 太田小学校は太田地区では一番高い3階建ての建物であり、水害時の避難所だったので、この建物がなくなってしまうと津波の時などにどこに逃げれば良いのか心配だ。太田小学校自体がなくなっても、建物は避難所として残してほしい。それが無理なら地区内の他の場所に避難所を確保してほしい。
- 太田小学校跡地利用についてこれまで積み重ねてきた議論を生かしつつ、実現化に向けた話し合いを更にしていきたい。運営方法も含め、早く市に方向性を示してほしい。
- 太田小学校の体育館は丈夫で、夜間は毎日のようにスポーツ系団体の利用者で賑わっているので、閉校後も残してほしい。

## 検討の進め方

### <ワークショップの進め方>

- ワークショップで議論するテーマを事前に具体的に示してもらった方が、考える時間があるので意見が言いやすい。
- 公共施設の課題は何かと問われても話が大きすぎて意見を言いにくい。個別の施設を事例的に検証したり、どうやって利用率を上げるのか、どんな層にどんな利用方法を推進するのかなど、もっと細部の検討をする必要があるのではないかと。
- 今回の開催時間帯は参加しづらいので、食事の準備などと重ならず、夜遅くならない終了時間にし、長さも検討してほしい。

### <情報提供>

- 事前資料を送付してもらっても内容が難しいため自分で読んだだけでは理解ができない。ワークショップの場でもう少しゆつくり説明してほしい。
- 保育園の施設状況や待機児童数、将来的な人口減少に伴う利用状況の変化など、議論のために必要な現況のデータを示し、説明してもらえると、より有意義な議論ができると思う。

### <意見の反映>

- 「ワークショップでは物事を決めず最終的に市が責任を持って決める」と言われると、市に既に考えがあり、ワークショップはアライバイ作ではないかという疑念を感じる。話したことが無駄にならぬ様にしてほしいし、もし既に方針があるなら先に示して欲しい。出された意見を聞くだけでなく実現の可能性があるのかを検証した上で、受け入れられるのなら反映し、受け入れられなければその理由を示すなど、結果を具体的に返答してほしい。そうしないと参加している意義が感じられない。
- ワークショップで多様な意見が出る中で話がまとまるのか、最終的な案の方向性や地域の方向性が決まるのか疑問に思う。
- 太田小学校の跡地のあり方については既にコミ協の検討委員会で話を進めているのに、このワークショップでも検討すると聞かれると、これまでの議論は何だったのかと思ってしまう。検討委員会の思いや取組みを踏まえ話し合いを進めてほしい。

# 第2回ワークショップが開催されました。

11月20日に豊栄地区公民館で開催されました。

第1回に引き続、第2回のワークショップが開催されました。ワークショップでは今後の進め方や成果のとりまとめ方について確認するとともに、次の内容について活発な議論が行われました。

- 検討の進め方
  - 公共施設ごとの個別課題と解決策
  - 地域全体から見た課題、公共施設の今後のあり方、解決策（コンセプト）、狙い
- ワークショップでの議論の内容については、次号のニューズレターや、12月26日に北区役所で開催を予定しているオープンハウス（裏面参照）でお伝えする予定です。